

未来への遺産を創造する ハートフルコンストラクター 荒牧組

[建築部門](#) [土木部門](#) [一般住宅](#) [リフォーム](#) [外構工事](#)
[会社概要](#) [会社沿革](#) [社長の雑談](#) [HOME](#)

↓ここをクリック
 過去の [社長の雑談](#) [^](#)

<リコーダー> H23.3.3

雛めぐりのイベント行事の中、今日は、駅前で落合崇史くんのコンサートがありました。

彼は、娘の同級生で幼なじみです。部活(吹奏楽部)も、小中学校と仲間だったので、今でも仲良しです。

彼は、幼い時から、音楽のセンス抜群で、どんな楽器でもこなしてしまう秀才でした。

彼は、今、東京(舞台・テレビなど)での活躍はもちろんですが、夏の納涼彩、雛めぐり、さくら市ミュージアムでの演奏、保育園へ出向いての演奏、喜連川小学校校歌の作曲などなど地元をも大いに盛り上げてくれているのは素晴らしいです。

今日の演奏は(彼はどんな楽器でも上手いのですが)リコーダーでした。クラシックからポピュラーまで、彼なりの選曲(選曲もセンスがあり)とアレンジで、リコーダー好きの私としては、大いに楽しませて頂きました。

たあ君、頑張ってね。いつも応援していますよ。

<竹とんぼ> H23.2.23

「僕だけ飛ばないんだ～」と、竹とんぼを片手に、すごいテンションで孫の良太が帰ってきました。

保育園で雛めぐりに行った先で頂いたらしいです。

「あら～なつかしい」と私はすぐビューンと飛ばすことが出来ました。孫の良太は何回やっても、ちっとも飛びません。どうしてなのか?正しい飛ばし方なのにと、私も困ってしまいました。「まあ、そのうち飛ぶようになるさ」などと、半泣きの孫をなぐさめている私でした。

そこへ、パパ登場「良太、こうしてごらん」と1回でパ～ッと飛ばせました。「なに～」と私もびっくり。

普通、竹とんぼ、右利き用に出来ているので、左利きの人は反対まわしでないと飛ばないんだそうです。なるほど一納得の瞬間でした。良くんの笑顔がやっと戻ってきました。

パパの株がグ～ンとUPしていました。

<拝啓 しんいち様> H23.2.18

これは、ラブレターではないのですが……。

あなたが居なくなつて、まる3年の月日が経とうとしています。

あつという間の3年でした。そして、いちにちいちにちという思いの3年でもありました。

それでも3年という月日はすごいものです。

ほんの少しづつではあるけれど、つらく・悲しく・苦しい思いは鈍くなりつつあり……そのかわりポカリと開いた私の心のなかに、いつも笑顔のあなたが存在しています。本当にこれはスゴイことで有難いものであります。

とはいいつつ、2月の風のなかに佇むと、あなたと共にたたかった最期のときがよみがえり、体が凍ります。

やっと、3年経ち、あなたへ手紙が書けました。

<氏家雛めぐり> H23.2.13

初日の昨日は、雪まじりの寒い日になってしまいました。

今日は、まあまあの陽気のせいか、町中で雛めぐりの人達をたくさん見かけました。

お雛様って一度よいものに出会うと、また見たくなるのでしょうか。「毎年来てますよ」などという方が沢山いるのです。

我が家のお雛様も、何年も眠っていたのに、ここ数年、皆様に見て頂いて嬉しそうです。

<お雛さま> H23.2.3

「あたちも飾りたかった～」と孫のあゆみに泣かれてしまいました。

保育園に行ってる間に、娘たちと飾り付けをしてしまいました…。やっぱり彼女も女の子なんだなあと思いました。

毎年、同じお雛様だけれど、箱から丁寧に開けた時の、あのワクワク感はとても感動的なものです。

「あら～あゆちゃんごめんね～」と平謝りでした……。

12日から氏家雛まつりが始まります。我が家も、今年も参加させて頂くつもりです。

というわけで、我が家のお雛様は、スタンバっています。



<父の命日> H23.1.17

今日は父の祥月命日です。娘たちとお墓参りをしました。

平成4年でしたので、早や20年にもなってしまいました。

いつも1月中旬になると、父の亡くなった時の事が鮮明によみがえって来ます。あの年も寒かったこと、ちょうど夫が矢板の現場に居たので、父の入院する塩谷病院にすぐにかけつけた事など……。あつという間の20年だった様な…。

この20年、色々な事があったなあと思い返して父を偲びました。

<雪> H23.1.16

今日は雪の朝で快晴です。朝のうちは、かなり温度が下がっているためか、パウダースノーで雪かきがとても楽でした。

会社の若い人たちは、早朝からの塩カル撒きで、本当にご苦労様でした。

私達は、あまり雪に慣れていないせいか、雪が降るといつもあたふたしてしまいます。

雪の後の大変さはさておき、子供達は喜びいさんでそり滑りに出掛けて行きました。ゆうゆうパークなのですが、送ってきたメールの写真を見ると、大スキー場みたいに見え、とても楽しそうでした。

雪は降っている最中はなんとも美しく素敵ですね。雪の舞い降りる中にいると、何だか異次元に来てしまったかの様な錯覚になります。

雪って大変だったり、楽しんだりと、不思議な天からの贈り物ですね。

<桧山先生> H23.1.13

桧山猛郎先生がお亡くなりになりました。今日はお葬式に行ってきました。

先生のお人柄そのものと、言葉は正しいかどうか分かりませんが、素晴らしいお別れの儀式でした。

ご自分の最期も医者として選び抜かれたというお話でした。先生こそ「医は仁術」を地で行かれた方だと思います。

私自身も、私の子供達も、夜中に先生をたたき起して診て頂いたことなど思い出しました。夫もロータリーでお世話になり、病気の時もいろいろとご心配を頂きました。

父や母や祖母と長いことお世話になったものです。

桧山先生、本当に有難うございました。

ご冥福をお祈り致します。

<温泉> H23.1.9

急に冷え込み、ここ数日、マイナスの気温が続いています。

この何年もなかったのに、我が家家のボイラーが凍りつき、お湯の出ない日を過ごしています。

あまりの寒さに、温泉に行くことになりました。温泉は、松島か早乙女のどちらかに行くのですが、今回は早乙女温泉に行きました。ここは、乳白色の本当に良いお湯です。窓からは三日月が美しく見えたりして！

すっかり温まり、家に帰ったのですが、いつまでも体がポッカポカでした。

我がさくら市は、温泉が身边にあり、本当にありがたいものです。

<新年に> H23.1.1

あけましておめでとうございます。

昨年やりのこした事がいろいろあったり、風邪が治らなかつたりと、すっきりしないまま新年を迎えてしましたが、新春の空気はなんと清々しいのでしょうか。すべてが新しく感じられ、美しく清められている感覚は、どこから来るのでしょうか……。

この新しい年の、いまの気持ちを忘れずに、今年も頑張りたいと思います。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

<時計草> H22.12.24

いよいよ今年も残りわずかとなってしまいました。

お陰さまで、どうにか無事に今年も終わることが出来そうです。本当にありがとうございました。

来年はいったいどんな年になるのでしょうか……。

私も一日、一日といいながらの一年がありました。

時の大切さ、時間の有意義な使い方など思っていた折、夏には咲かなかった時計草が咲きました。こんな時節に！と思いながら、ちょっと感動でした。こんなに名前と形とがぴったりの花はあるでしょうか。



師走の陽だまりのなかで、時計草を眺めながら、時の流れの速さを憂いつつ……もう少し頑張らねばと思っております……。

皆様もどうか良いお年をお迎え下さいよう……。

<手帳> H22.12.9

今年も12月に入り、新しい手帳を買いました。

夫が亡くなり、3冊目の手帳になります。赤色・白色・今度は紺色にしました。

今まででは、あまり手帳の重要性を感じなかつたのですが、今はこれが無ければ何も出来ない状態です。私のすべての予定や日記風なもの、時には下手なイラストのようなものまで書いてあります。本当に手帳に頼った生活をしています。

この手帳は、娘から使いやすいよと勧められて使い始めました。開くとA4の大きさなので、少々デカイのですが、気にいっています。

何しろ私の手帳は、ミミズがのたくったような字なので、他人には読めそうにありません。

夫が亡くなった後、何十冊もの黒い手帳が残されました。夫の手帳は、余計なことは何も書いていないのですが、現場の事や会社の事など、簡潔にきれいに書いてあります。いつ読んでも、どこをめくっても、美しい文字が並んでいて、気持ちのいいものです。

夫は亡くなる2日前まで、手帳は離さず書いていました。それに比べ、私の手帳ときたら、ビックリ

箱のようで、何が書いてあるか分からないわ、きたないわと驚かれてしまいそう……。こんな手帳残したら、本当に物笑いになりそうです……。

来年はきちんとキレイな手帳にするぞと誓っています。

＜銀杏＞ H22.11.16

11月も半ばに入り、すっかり寒くなってきました。しかし、日なたは、小春日和の暖かさです。今日は、久しぶりに快晴の空は真青です。

馬場あたりの4号線をはしっていたら、今宮神社の真黄色に色づいた銀杏が目に飛び込んできました。

今宮さんの銀杏は思い出がいっぱいです。娘たちの七五三の記念写真。生前の母の写真にも。

昨年、強風でたいぶ痛んでしまったらしいのですが、なんと見事に復活して素晴らしい枝ぶりでした。大勢の人の思いが銀杏にも伝わったのでしょうか、とくに今年の黄色は美しいように感じました。

写真を撮らせて頂いていたら、金子宮司さんがいらして「昨日から夜もライトアップしていますよ。どうぞ夜も来てください。」とおっしゃっていました。そして、「ドビュッシーの月の光を聞きながら、この大銀杏を観賞するのっていかがでしょう？」とおっしゃいました。

その後、今宮神社の金子宮司さんのブログを拝見しましたところ、大銀杏の写真とともに、月の光のBGMが流れしていました。



＜カワラノギク＞ H22.10.26

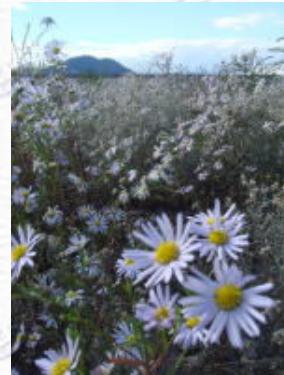
昨年あたりから、新聞などでもちょこちょこと紹介されているカワラノギク、氏家の水神会の方たちの保護活動により守られているそうです。

押上の河川敷とは聞いていたのですが、場所が見つからず、堤防をいたりきたりしましたが、散歩をしている人に訪ねたところ、丁寧に教えてくれました。

土手をのぼった先に現れたカワラノギクは、あら~と思わずさけんてしまうほど見事に咲いていました。うす紫のそれは、風にゆれて、あたかも匂うがごとくです。

このカワラノギク、絶滅危惧類に指定されており、鬼怒川・多摩川・相模川と関東地方の一部の河川にのみ生育するものだそうです。二年草で、水をかぶりやすい安定しない河原を好むため、きびしい自然の中でしか育たないそうです。

毎年少しづつでも、増えていってくれるといいなと思いつつ、また来ようと思いました。



＜東洋医学2＞ H22.10.22

私の友人が宇都宮で鍼灸院をやっています。親の代からずっと続いており、患者さんも小さな子から100歳のおばあちゃんまで様々です。

私も若い頃は、まったくハリとかお灸には感心がなかったのだが、最近はこれに助けられる事が多い体になってしまいました。

風邪はちっとも治らないは、足腰も時折痛むはで、ここのことろとてもごやっかいになっています。

最近、この友人の鍼灸院では若いかわいい青年が治療をしてくれます。なんと、それは息子さんでした。こんな若き鍼灸師が育っているのは何とも頼もしいものです。

どんどん進化する西洋医学も大切ですが、東洋医学のこれらの技術の継承も、また大切なだと思います。

＜東洋医学1＞ H22.10.20

ちっとも治らない風邪に、処置が見つからなかつたが、漢方薬の星火温胆湯というのに出会いました。

この薬、唐の時代からあるもので、いろいろな効能はあるのだが、臨床応用として最後に書いてある「風邪が抜けきれず、微熱が続き、心中悶乱し体がだるい……」という症状にぴったりでした。

いつも私の風邪は、長引くのが常で、これは体质のせいかとか思いつつガマンして来たのだが、年をとるにつれて、ちっとも治らない風邪に、もうこれは何かピッタリの薬を見つけねばと思っていた折でしたので、感動でした。

これで、少し良くなると思うのですが……。

＜秋桜＞ H22.10.11

風邪気味で、連休は引きこもっていたのだが、娘に誘われてグリーンパークに行ってきました。

今日は、真夏を思わせる陽気になりました。

ことしもコスモスがいっぱい、気持ちのいい眺めでした。暑いけれど、青空に秋の雲が美しく浮

かんでいます。深呼吸をして、帰ってきました。



<ゴーヤ その後> H22.10.5

いつのまにか、もみじの木につるを延ばし、こんな大きくなっていました。ちっとも気がつかず、今はこんな感じになっています。この種をまいたらどうだろう、と言いながら観察しています。



<秋の香り> H22.10.4

家中、扇風機と炬燵が同居している様な有様で、季節感など全く感じられない毎日ですが……。

朝、窓を開けたらフツと強い”きんもくせい”的な香りが部屋中に入って来ました。

ああ秋の香りだと体中で感じる瞬間でした。人間の五感のうち、臭う、いや匂うという感じは、何かいちばん刺激的な感じがします。あゞこの香りは……？

香りとともに風景がよみがえってくる瞬間移動、タイムスリップ出来るすごさがありますよね。香りと記憶の関係って……人の脳と臭いの関連性っていったいどうなっているのでしょうか。

<新米> H22.10.1

残った古米はおきざりにして、ここのところ新米を毎日いただいています。

さすがお米の素晴らしい香り、粘り、味わいを堪能しています。美味しいごはんがあれば他に何もいりません。少しの塩鮭と、漬物でもあればいい。

美味しいごはんを頂くとき、日本人に生まれてよかったですと、しみじみ思います。



B A C K